

書類 番号	19
----------	----

南 保 発 第19号
令和8年4月20日

自治会町内会長 様

南保護司会
会長 伊東 秀明
南区更生保護女性会
会長 青山 かなよ

会報「更生保護みなみ（第62号）」の広報協力について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、かねてより両会が推進しております更生保護事業の諸般にわたり、ご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、既にご承知のとおり両会が実施している主要行事や日ごろの活動状況等を広く住民の方々にご紹介し、ご理解を深めていただくため標記会報を毎年春期と秋期に定期刊行しております。

このたび第62号を作成いたしました。

ご多用の中、誠に恐縮ですが、会報を回覧数分お送りいたしますので貴町内会にてご回覧いただきたく、ご配慮をお願いいたします。

【問合せ先】

南保護司会・南区更生保護女性会
事務局 田邊・西村
TEL：260-2510

更生保護 みなみ

発行 南 保 護 司 会
 南区更生保護女性会
 発行人 伊 東 秀 明
 編集人 永 井 正 己
 事務局 南区社会福祉協議会内
 045 - 260 - 2510
 承認 南 区 第 2 号
 印刷所 株 式 会 社 日 栄

令和7年度 研修旅行 甲府刑務所



10月20日（月）南保護司会主催の研修旅行が開催された。

今年度は山梨県の甲府刑務所へ、保護司の親睦を兼ねた日帰りのバス旅行となった。

甲府刑務所は、主に26歳以上で刑期10年未満の男子受刑者、外国人受刑者を収容している。

見学の初頭に刑務官から「その人自身が『より良く生きたい』と思うところから更生は始まる」との理念を元に、更生の意欲の喚起及び社会生活に適應する能力の育成を旨として矯正処遇を実施しているとのお話を伺った。

講話の後、刑務所内を見学し、受刑者の作業の様子や実際に作成された家具等の製品を見ることができた。刑務所内で規則正しく生活し、罪と向き合いながら刑に服す様子を見学し、保護司にとって大変有意義な施設見学となった。

刑務所見学の前後に、信玄餅の製造工場「桔

梗屋」を見学し、信玄餅の詰め放題を楽しんだ。又、ワイナリー「シャトー勝沼」でワイン試飲を体験した。

行き帰りのバスの中では保護観察に関するビデオを鑑賞し、保護司間の親睦も図りながら、今後の活動の一助となる日帰りバス旅行となった。



令和7年度 第Ⅱ期地域別定例研修会 「報告書の書き方」

9月9日（火）、福祉保健活動拠点において第Ⅱ期地域別定例研修会が開催された。

「報告書の書き方」をテーマに、横浜保護観察所谷川明日香観察官を講師として19名の保護司が出席した。

保護観察報告書は、対象者の生活実態と保護観察の状況を正確に伝えるという重要な意義を持っている。保護観察官は提出された報告書によって、対象者と保護司の接触状況や、就業状況、就業実態を把握し、必要な処遇方法や措置を検討するための資料にする。

生活環境報告書は、地方厚生保護委員会における仮釈放審理の際の重要な資料となる。

今回の研修では、事例ビデオを見た後、保護観察や面接に基づいた報告書の記載要領について、数グループに分かれて検討を行った。

又、生活環境調整の訪問要領をロールプレイング形式で再現し、報告書を作成するという実践的な研修を行った。

後半の研修では保護司専用ホームページH@（はあと）による報告書の流れを確認し、刑法の一部改正「拘禁刑の創設」の経緯、「刑の執行猶予制度の拡充」等について説明して頂いた。

具体的事例による実践的な研修を行ったことで、大きな自信と確認につなげることができ、報告書の役割、重要性を認識する有意義な研修であった。



令和7年度 第Ⅲ期地域別定例研修会 「精神障害を抱えた対象者の処遇 ～発達障害を含む～」

2月10日（火）、福祉保健活動拠点において第Ⅲ期地域別定例研修会が開催された。

「精神障害を抱えた対象者の処遇～発達障害を含む～」をテーマに、横浜保護観察所谷川明日香観察官を講師として17名の保護司が出席した。

保護観察や生活環境調整の対象者やその家族の中には、精神障害や発達障害をかかえており、社会適応が上手くいかなかったことが犯罪や非行の一因と思われるケースが一定数見られる。又、特性が理解されないことによる孤立や失敗体験の蓄積といった二次被害により精神的・身体的な不調を抱え、これらが行動上の問題につながっている人もいる。

今回の研修では障害のある対象者や家族の特徴を理解し、働きかけや方法について検討することで今後の処遇の充実に役立てることを目的としている。

数グループに分かれて、事例検討をおこなった。面接日時の設定、質問の仕方、話し続ける工夫、両親の不安解消の方策等について意見を出し合った。

発達障害には、自閉症スペクトラム(ASD) 注意欠陥多動性障害(ADHD) 学習障害(LD)に分類される。精神障害の症状には、統合失調症、パーソナリティ障害(人格障害) 摂食障害、薬物依存、気分障害(躁うつ病)がある。

このような精神障害・発達障害を抱えた人に接した経験のある先輩保護司の苦労話を聞き、大変参考になった。今後の保護司活動に生かすための貴重な研修となった。



「南区小・中学校専任教諭との話し合い」

11月21日(金)、社会福祉保健活動拠点において「南区小・中学校専任教諭との話し合い」が行われた。

専任教諭の自己紹介の後、以下の4グループに分かれて行われた。

第1グループ：共進・平楽中学校、日枝・南吉田・太田・石川・中村小学校

第2グループ：蒔田・南・国大付属中学校、南太田・蒔田・井土ヶ谷・大岡小学校

第3グループ：永田・六ツ川中学校、永田・永田台・六つ川・六つ川西・六つ川台小学校

第4グループ：藤の木・南が丘中学校、藤の木・南・別所小学校

今年度は新しい専任の先生が多く、保護司を理解して頂くために、保護司の役割や活動内容などを保護司から説明し、先生からは学校や子供たちの様子を話して頂いた。

以下、グループでの話題に上がった主な内容である。

- ・コミュニケーションがとれない子、居場所のない子が少なからずいる。
- ・母子家庭や共働きのため、連絡が取れない親が数人いる。
- ・満たされていない子どもが多く、寂しい家庭も多い。



- ・大人になり切れていない親が多い。
- ・学校と保護司が連携し、情報交換が必要である。
- ・スマホがおもちゃとなり、トラブルも多い。大人は把握しきれない。

短い時間ではあったが、有意義な意見交換ができた。タブレットやスマホが当たり前の時代になり、子どもを取り巻く環境が変化した。働き方改革によって学校運営の大変さなどを、先生との情報交換で知ることができた。

話し合いの後、懇親会を開催し交流を深めた。今後もこのような話し合いの機会を継続していく必要性を強く感じた。

社会貢献活動に参加

2月17日(火)、清水ヶ丘公園内で落ち葉清掃に参加した。

横浜保護観察所主催の社会貢献活動は、保護観察対象者が社会に貢献する活動として毎年行われている。南区では清水ヶ丘公園において、植栽活動や落ち葉掃き等の清掃作業を実施している。

活動に参加する対象者は2名であった。南区、西区の保護司、更生保護女性会、数名が参加し、楽しい雰囲気の中作業に集中した。

少し肌寒い日であったが、全員爽やかな汗を掻きながら、普段やらない作業を熱心に行った。落ち葉をまとめて、回収した後はきれいになり、参加者全員が達成感を感じた。

保護観察対象者も黙々と作業を行い、社会の一員として社会貢献活動を行った。清掃後の感想は「疲れたが、きれいになったので、いい貢献活動ができたと思う。」と話してくれた。





更生保護女性会だより



ご支援に感謝を込めて

日頃より、更生保護活動にご支援いただきありがとうございます。
 更生保護活動は、目立たない活動として長年続いている活動です。
 「安心・安全な地域」を願っている会員と、この活動に共感してくださる方々のお陰と感謝いたします。

「取り残された人を見捨てない」「罪を犯した人の立ち直り」安心安全な明るい社会を願って更生保護女性会として、ほっとけない・お節介な気持ちで社会的にも意義のある、誰でもが生きやすく、明るい社会を目指してこの活動に寄り添って日々活動を続けてまいります。

これからもご支援よろしくお願いいたします。



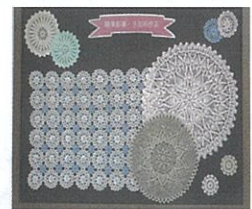
青山会長

秋の南区更女研修旅行

令和7年9月17日(水)に府中にある女子少年院「愛光女子学園」に行きました。
 「愛光女子学園」は昭和24年1月に「武蔵野女子学園」の名称で女子の初等・中等少年院として開設され12歳から23歳未満の女子少年を収容し非行から立ち直り健全な社会人となるよう、矯正教育を行う国の施設で昭和24年4月に「愛光女子学園」と改称され現在に至っています。

「愛光女子学園」という自然な名前でも地域に溶け込んでおり、法務教官の収容者に対する温かいまなざしと一人一人にきめ細やかに対応する姿勢、配慮があり、少年院と思えない日の差し込む明るい空間とぬくもりのある施設でした。

このような環境の元で良い教育を受けられることは素晴らしいと思いました。



生徒の作品



研修室にて



参加者一同

愛の募金

毎年7月～8月に行われています「愛の募金」活動にご協力いただきありがとうございました。募金額 144名の方々にご協力いただきました。240,100円

皆様から頂いた募金は下記の団体更生保護施設
 まこと寮・横浜力行舎・横浜ダルク・ケア・センター
 横浜刑務所に更生と社会復帰支援のためお届けいたしました。



まこと寮・食事作り支援

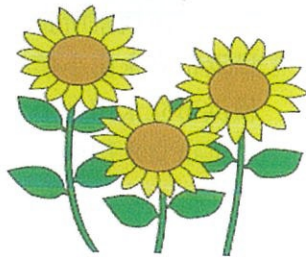
令和7年度 更生保護女性会受賞者 おめでとうございます

第76回 神奈川更生保護大会

- 日本更生保護女性連盟理事長表彰
森坂 公子
- 関東地方更生保護委員会委員長感謝状
座間味 祐子
- 横浜保護観察所長感謝状
足立 博子
- 神奈川県更生保護女性連盟会長表彰
岡本 和子・山口 恵子

第72回 横浜市更生保護大会

- 横浜市市長感謝状
阿部 トキ子
- 横浜市市会議長感謝状
鈴木 久美子
- 横浜市更生保護女性連盟会長表彰
湯沢 牧子 太田 靖子
小菅 スズ子



令和7年度 活動報告 (9月～3月)

令和7年度

- 9/12・10/10・11/14・12/12・1/9・2/12・3/13 定例理事会
- 9/17 南区更生保護女性会
研修旅行「愛光学園」
- 10/17 県更女性連盟新人研修会参加
- 11/26 第76回神奈川県更生保護大会参加
- 12/6 第73回横浜市更生保護大会参加
- 12/15 神奈川県更生保護女性連盟
65周年記念事業会員研修会参加

令和8年

- 1/6 南区新年賀詞交換会参加
- 1/27 令和8年度社明学校説明会
藤の木中学校説明会
- 1/29 令和8年度社明学校説明会
藤の木小学校説明会
- 1/30 南区保護司会・更女合同
「新春のつどい」開催
- 2/6～2/7 横浜みなとみらい矯正展参加
- 2/17 社会貢献活動参加
- 3/23 南区更生保護女性会会員交流会
- 3/21・3/22 「みなみ桜まつり」参加
- 9/21・10/19・11/16・2/15
まこと寮食事作り

編集後記

本年度ミラノで行われた冬季オリンピックのマスコットキャラクターはオコジョでした。更生保護女性会の会員のオコジョさんを思いとても身近に感じました。サラちゃんの更生物語に登場しサラちゃんに「黄色いリボンの髪飾り」をプレゼントしたのはオコジョさんでした。



冬のおコジョ

女性の立場から、地域における犯罪予防活動や子ども達の健全育成のための支援活動などを行うボランティアです。

オリンピックは終わりましたがオコジョさんはこれからも活躍します。

更生保護女性だより春号の編集が終わりホット一息出来ました。



令和8年「新春の集い」

1月30日（金）、南保護司会と南区更生保護女性会の共催で、中華街「金香楼」にて「新春の集い」を開催した。

南保護司会26名、南区更生保護女性会12名が出席し、来賓として高澤南区長、小・中学校長、横浜保護観察所、連合町内会会長、町内会会長14名の方々に参加して頂いた。

各テーブルでは、地域や関係機関との情報交換が活発に行なわれ、互いに親睦を深め、更生保護活動を理解して頂き、幅広く交流することが出来た。

会の後半ではビンゴゲーム大会を実施し、番号が読み上げるたびに歓声が上がリ、大いに盛り上がった。

南保護司会と南区更生保護女性会が地域と共に支え合い、地域や青少年の安心安全を中心に更生保護活動を実施していくことを確認し、盛況の中「新春の集い」は終了した。



令和7年度 保護司会受彰者 おめでとうございます

○法務大臣表彰

青山 憲二 岩田 力
鳥取 芳夫

○全国保護司連盟理事長表彰

島田 秀世

○関東地方更生保護委員会委員長表彰

鈴木 秀高 横田 豊明

○関東地方保護司連盟会長表彰

細谷 裕一 宮本 康明

○神奈川県保護司会連合会長表彰

小川 博芳 黒澤 雄太
藤元 政光

○横浜保護観察所長表彰

佐藤 貴代子 須加 佳江
鈴木 博文 丹羽 利之

○横浜保護観察所長感謝状

横浜市立永田小学校
横浜市立永田台小学校
横浜市立永田中学校



考えよう！地域のチカラ！ 第76回“社会を明るくする運動”南区推進大会

日時 令和8年7月5日（日）午後1時30分より

場所 南公会堂

内容 標語表彰
更生保護のつどい

藤の木中学校

藤の木小学校

主催 社会を明るくする運動南区推進委員会